

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

岩手県 高校入試情報

令和7年度岩手県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問数：地3・歴2・公2・地歴公1の計8問（昨年と同じ）

○小問数：29問（昨年と同じ）

○文章記述問題は8問（昨年は7問）

●出題傾向について

○語句記述や記号選択の問題は、各分野とも知識を問う問題が多い。基礎を押さえる。

○地理分野では統計資料や雨温図からある地方や都市のものを特定する問題が出題。

○歴史では並べ替え問題が出題されている。

○分野統合問題の記述問題では、家庭ごみの収集袋の有料化がテーマとされた。

★岩手県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

資料読み取り問題の出題

●各分野において、統計やグラフなど資料からの読み取り問題が出題されているため、複数の資料に慣れておくことが必要。

新研究で対策！

●解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。

●「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。

●「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

文章記述問題の出題

●記述問題は、複数の資料から読み取り考えられることを記述させる形式で出題されているため、自分の考えを簡潔にまとめる力が必要。

新研究で対策！

●巻頭の「社会のキホン～記述問題の答え方～」(p. 2～3)と、「文章記述問題はこわくない！」(p. 184～187)で記述問題のポイントがつかめます。

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 194～197)では、複数の資料を用いた問題など、思考力を必要とする問題が練習できます。

★新研究で出題した岩手県の入試問題(令和7年度)

◆p.31 ◆p.43 大問2 ◆p.53 ◆p.77 大問2 ◆p.113 大問3 ◆p.137 大問3

◆p.151 大問3 ◆p.186 大問1

岩手県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★岩手県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿		●		
		世界各地の人々の生活と環境			●	●
		アジア州	●	●		
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●			●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●		●	●
		地域調査の手法			●	
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方		●		●
		近畿地方, 中部地方	●	●		
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●	
		歴史的分野	文明のおこりと日本		●	
	古代国家の歩み		●	●	●	●
	中世社会の展開			●	●	●
	ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●			●
	近世社会の発展		●	●	●	
	近代ヨーロッパと日本の開国					●
	近代日本の歩み		●	●	●	●
	二度の世界大戦と日本		●			●
	現代の日本と世界		●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活			●	
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
		現代の民主政治, 国会		●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立		●		●
		地方自治	●			
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●		●	●
財政, 国民生活と福祉			●		●	
地球社会と私たち			●	●		
分野統合		●	●	●	●	
出題形式別の傾向	大問数	8	8	8	8	
	小問数	29	29	29	29	
	記号解答	16	18	19	15	
	用語記述	6	4	3	6	
	文章記述	7	7	7	8	
	作業・作図					